



復興をめざす町民運動会（競技費用）

被災地の人や活動の応援



被災地の伝統のお祭り



災害公営住宅の住民交流（集会室備品）



仮設住宅の住民交流（敬老会、新年会等の交流費用）

みなさんの募金から

たくさんの“ありがとう”が生まれています

他団体（愛知）の支援活動を応援



宮城県七ヶ浜の子どものためのミュージカルの開催（協賛）

愛知県に広域避難されている方の応援



県内各地の交流会（開催費用）

被災地の生協を応援



（移動販売車購入等）

一人ひとりのところに響く支援活動を
みなさんの力で

認定 NPO 法人レスキューストックヤード代表理事
栗田暢之さん

（東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人・愛知県被災者支援センター長）

あの日のことが話題に出ると今でも涙があふれ出る沿岸部の方々。また、我が子のいのちを守るために必死の思いで避難されてきた方々、せめて保養でところとからだの健康をと願う放射能汚染地域の方々。

これら多くの方々のために貴コープの人・物・金・ネットワークがどれだけ役立てられ、被災者を元気づけ、勇気づけてきたかは計り知れません。

全国のコープでも最も優れた活動を展開されていることに改めて敬意を表し、今後も一人ひとりのところに響く支援活動が継続されることを願っています。



2015年9月度までの募金累計
…2,451万円

2015年9月度までの活用累計
…1,459万円

2012年度（6月スタート） 425万円
2013年度…………… 954万円
2014年度…………… 738万円
2015年度…………… 334万円
*店舗での復興支援団子募金 64万円

2012年度…………… 150万円
2013年度…………… 11万円
2014年度…………… 643万円
2015年度（9月度まで）… 655万円

2015年度復興支援活動募金活用予定

- ①被災生協（3生協）がすすめるボランティア支援活動…………… 100万円
- ②日本生協連や他団体と取り組む支援等…………… 200万円
- ③支援タオルでつながった被災地の復興の応援
…………… 300万円
- ④愛知県に避難されている方々への寄り添い活動…………… 200万円
- ⑤原発・放射能汚染被害地域（被害者）のボランティア支援活動
…………… 400万円
- ⑥被災地の方を招き、地域で防災の取り組みに活かす活動… 100万円

私たちの募金は、たくさんの人😊と活動に寄り添っています

被災地の子どもたちの心身のリフレッシュを願い、毎年、空気が綺麗な環境（東海地区）で取り組まれている保養キャンプを特集します！

特集!!

東海地区の保養キャンプ実施団体の活動を応援

高線量地帯に暮らす子ども達の心身の健康を願って、短期リフレッシュ型から、3週間前後で内外被ばくの影響軽減を目指す滞在型まで、いろいろなタイプの取り組みが実施されています。この夏、東海地区にある8つの保養実施団体に、みなさんからの寄付金が活用されました！

募金活用総額：253万円

※2015年夏/200万円：25万円/8団体

保養キャンプってご存知ですか？

2011年3月11日の東日本大震災によって起きた東京電力福島第一原子力発電所の深刻な事故により、私達日本人は、眼に見えず臭いもしない「放射性物質」に悩まされるようになりました。

大人よりも放射線に対する感受性が高いとされる子ども達にとって、健康に成長するための有効な手立てのひとつとして、事故後すぐに全国的に民間の取り組みとしてはじまったのが「保養」という活動です。

東海保養ネットって？

東海保養ネットは東海地方の保養受入団体のネットワークです。いまなお日々の生活や外遊びの中で、リラックスできない方々に向け、住んでいる地域を離れ、心や体をリフレッシュする場を提供しています。主な活動として、保養キャンプの実施や期間前後に各団体の活動で得た知見を持ち寄り、協働・事例検討・情報共有を行い、よりよい活動について検討を重ねています。

みなさまのご支援が必要です!!

あれから4年の歳月が経ち、全国的に人々の関心は薄れて、福島だけでなく、東北・関東に点在するホットスポットと呼ばれる場所に住む人々の中に、その土地に留まることを選択したが故に「放射能」については考えない、語らないというような雰囲気蔓延しているように感じています。

今年の夏はどの子にとっても一度きりですが、おかげさまで沢山の、思いっきり自然の中でのびのびできる夏休みを過ごせたことと思います。

1986年のチェルノブイリ原子力発電所の事故から27年後の2013年、ウクライナ政府は「保養庁」を設立しました。

事故当初、ドイツや日本へも保養に来ていた子ども達が親になっている今も、国として保養を行っている…。この現実、私達は狼狽しますが、立ち止まっている時間はありません。

これからも子ども達のこの笑顔の為に、継続的にこの活動を行っていきたくと考えています。

是非、今夏のご支援について知っていただき、心からの御礼と引き続きのサポートをどうぞよろしくお願い申し上げます。

東海保養ネット一同

8団体のキャンプに募金が活用されました!!

- NPO法人KIプロジェクト▶参加者の旅費補助
- 日進まちづくりの会▶交通費に使用
- おいでん!福島っ子!運営委員会▶イベント費補助
- 一般社団法人 aichikara▶食費補助
- 光の帯ネットワーク『青空の下 つながろう会』▶交通費に使用
- 21st Century Ship 海旅団▶日々の食費として使用
- 公益財団法人名古屋YWCA&名古屋学院大学▶子どもたちと母親たちのプログラムに使用

東海保養ネット

Tokai Hoyo Network
HP: <http://www.tokai-hoyou.net/>



準備へ片付け、毎食のおいしく健康を考えた食事、資金集め...羊草、多くの方々の協力があって開催された事、僕もって下さったすべての方に感謝いたします。「来年も絶対参加するから!!」と申しております。

—小学5年生のお母さんより頂いたお手紙抜粋

*特集) 1)~4)のナンバーは、上記募金活用のナンバーと連動しています。

活用されたプロジェクト 2012年度

- 3) クリスマスカード・お菓子等(いわて生協) 20万円
- 3) 被災地移動販売車募金(いわて生協) ※表写真 100万円
- 3) 被災地児童の思い出作り義援金(みやぎ生協) 30万円

活用されたプロジェクト 2013年度

- 3) ひなまつりカード 贈呈協力金(いわて生協) 3万円
- 3) セタカードお菓子代(いわて生協) 4万円
- 3) クリスマスカード贈呈協力金(いわて生協) 3万円
- 4) 長洞仮設しめ縄づくり協力金(大船渡市社協) 2万円

活用されたプロジェクト(主要)2014年度

- 4) NPO法人陸カフェの企画(ボランティア慰労企画) 7万円
- 特集) aichikara 保養キャンプ夏(食料費) 23万円
- 特集) aichikara 保養キャンプ冬(食料費) 30万円
- 4) 陸前高田市うごく七夕祭り(山車製作費) 25万円
- 4) ①大船渡市赤崎地区町民運動会競技費用 ※表写真 30万円
- 4) ②大船渡市赤崎地区復興市開催費用 20万円
- 2) 広域避難者家族大交流会(温泉宿泊費) ※表写真 150万円
- 3) 日本生協連(被災地生協支援)募金へ 100万円
- 3) 日本生協連(福島の生協保養プロジェクト)募金へ 200万円

活用されたプロジェクト(主要)2015年度(9月まで)

- 1) NPO法人愛知被災者支援ボランティア交流会(震災遺児・孤児交流会) 30万円
- 1) NPO法人レスキューストックヤード ※表写真 30万円
- 特集) 東海保養ネット(保養キャンプ実施8団体) 200万円
- 2) 愛知県に避難する皆さんの交流会(年間) 200万円
- 4) 陸前高田市うごく七夕祭り(山車製作費) 35万円
- 4) ①陸前高田市一中仮設自治会(住民交流事業) ※表写真 25万円
- 4) ②陸前高田市下野団地自治会(集会所備品) ※表写真 30万円
- 4) ③陸前高田市立図書館人材養成講座 30万円
- 4) ④大船渡市盛町七夕祭り実行委員会(お祭り装飾品等) ※表写真 20万円

1) 他団体(愛知)の支援活動を応援... 募金活用総額:60万円

Pick Up! NPO法人被災者支援愛知ボランティアセンター

コープあいち様からは、震災孤児遺児支援活動に対してご協力を頂いています。これからは組合員の皆さまのご協力をお願いします。

NPO法人被災者支援愛知ボランティアセンターは、①石巻市十八成浜での応援活動、②震災孤児遺児への応援活動の2つを東日本大震災での主要な応援活動として取り組んでいます。今年6月には仙台市で初の保護者の交流会を、8月には石巻市で「でらええ〜友だちつくっぺえ笑顔プロジェクト2015夏」と題して、第6回目の震災孤児遺児と愛知の学生の交流企画を現地2泊3日で、民宿を借り切って実施しました。これ 理事長 久田光政さん

からも継続して、震災でお父さんお母さんを亡くした子どもたちへの応援を続けて参ります。(東海高等学校教員)

*この他に、NPO法人レスキューストックヤードの七夕浜ミュージカル(表紙写真)に協賛しました。

2) 愛知で避難生活を送られているみなさんを応援 募金活用総額:361万円

Pick Up! 愛知県に避難されている方の交流会費用の支援

愛知県では、大震災と原発事故で避難された方々約480世帯(1100人)が、今なお避難生活を続けています。愛知県被災者支援センターと協力して、募金で交流会の開催を支えています。

年に一度開催される広域避難者の大交流会は、温泉に宿泊し家族間で心温まる交流ができました。年2回のお米のお届けと合わせて、コープあいちのみなさんの心強い応援に感謝しています。

愛知県で避難生活を送る鈴木ユカリさん

3) 被災地の生協がすすめる支援活動を応援 募金活用総額:512万円

被災地の生協が仮設住宅や買い物不便な地域を巡回する移動販売車の購入や図書プロジェクトをはじめ、全国の生協と協力して取り組んだ被災地生協応援募金にも活用させて頂きました。

生協まつり(9月)の応援ありがとうございました。来年1月には、コープあいちさんの募金(協賛)により、被災地で仙台フィルコンサートを開催できることになりました。お菓子を添えたメッセージカード(クリスマス、ひな祭り)の心遣いに励まされています。(けせんコープのみなさんより)

4) 組合員の支援タロがつかないだ地域のみなさんを応援... 4)募金活用総額:273万円

被災地のみなさんの大きな助けがなくては、組合員の家庭から集まった23万枚のタロを必要な方地域に届けたいと考えています。

Pick Up! ①高田一中仮設住宅

災害公営住宅の完成により住民の入れ替わりが激しくなっています。みなさんからの募金は、9月敬老会(高齢者)、10月芋煮会(全住民)、12月クリスマス会(子ども)、1月新年会(全住民)の開催に活用して、仮設に残る住民の交流と、心の支援(孤立防止)に役立てたいと存じます。

区長 中村勉さん

Pick Up! ②市営下野団地

当団地は、市内で最初にできた大規模な災害公営住宅(1200世帯)ですが、自治会の財源が不足し、入居開始から半年たっても集会所には何一つ備品が揃っていませんでした。みなさんの募金で少しずつ集会所の機能が整いはじめ、全住民にわかりお礼申し上げます。

自治会長 白井佐一さん

Pick Up! ③陸前高田市立図書館

震災後は財源がなくて開催できなかった読書ボランティアの育成(4回講座)に取り組まれました。子どもだけでなく高齢者を対象とした読書ボランティアコース(朗読)が増える一方、市の図書館は流失し、仮設図書館を中心に交流イベントを開催しています。みなさんの応援を胸に、図書館の本設に向けて頑張ります。

副主幹 長谷川敬子さん

Pick Up! ④大船渡市盛町七夕祭り

コープあいちさんをはじめとする愛知の団体・企業に協賛していただき、お祭りの新しい備品を購入できました。ジャンボ焼き鳥(安城七夕祭り)は、盛町の青年グループに引き継がれました。盛町の町民とともに、コープあいちさんの気仙地域(大船渡)へのお越しを歓迎いたします。

実行委員長 水野公正さん

Pick Up! ⑤大船渡市赤崎地区公民館

地区町民の団結と地域の復興に物心両面のご支援、誠にありがとうございます。赤崎地区の復興市や花壇づくり、町民運動会(3年続けて)を皆さんの募金で支えて頂きました。継続的なご支援に、赤崎地区町民一同、感謝申し上げます。

公民館長 金野律夫さん

*この他に、震災後に生まれたNPO法人「陸カフェ」の取り組みや、陸前高田市高田町のうごく七夕まつりをみなさんの募金で応援しました。

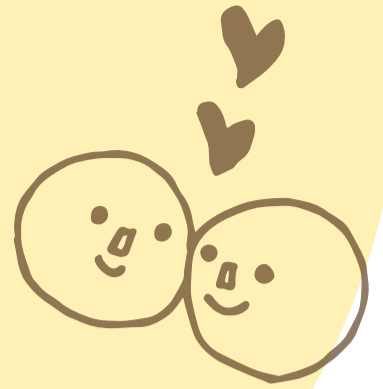
みなさんの たくさんの支援を 災害からの復興につないで

岩手県知事からのメッセージ

岩手県 達増拓也知事



コープあいちの皆様には、「東日本大震災」発災以来、多大なご支援や励ましを頂いており、改めて、心から感謝申し上げます。「タオルの絆」に象徴されるご支援は、復興に向けて邁進する岩手県民に大きな希望をもたらしております。岩手県としても、一日も早く復興を成し遂げるべく、全力で取り組んで参りますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



組合員から集まった23万枚のタオル配布から深い絆が生れ、今も交流が続いています。復興に向けて立ちあがろうとする人や活動を、みなさんの募金が支えています

災害への備え 人と活動のつながり 安心してくらせるまちづくりへ

たくさん組合員のみなさまに募金にご協力頂き、心から御礼申し上げます。

組合員お一人ひとりの温かなお気持ちを、被災された方々の励みにつなげられるよう、顔の見える関係や活動に募金を活用させて頂きました。

募金のお届けを通して、私たちはあらためて地域のつながりや助け合いの大切さを、東北の皆さんに教えて頂きました。同時に、「同じ苦しみを2度と繰り返さぬよう、教訓を愛知で活かしてほしい」と呼びかけて頂きました。身近な地域で各自にできることをつなぎ、生活者の協同で安心してくらせる地域・まちづくりをすすめていきましょう。

これからも、募金を通じた心温かい応援をお願い致します。

コープあいち理事長 夏目有人



お知らせ

私ができること持ち寄り交流会

被災地・大震災からの学びとつながりをいかして
安心と笑顔でくらせる私たちのまち・地域をつくろう

- ♥ 12/6(日) 生協生活文化会館
- ♥ 1/24(日) 豊橋商工会議所
- ♥ 2/6(土) グリーンパレス春日井(予定)
- ♥ 3/19(土) 刈谷市産業振興センター

平時から身近な地域の支え合い活動を広げ、
大災害に備えていきましょう。

募金活用の取り組みや、地域での居場所づくりや見守り活動について
交流し、私たちの身近な地域で、生活者としてできることを相談します。

継続して
ご協力ください

復興支援活動募金

◇OCR注文用紙で、毎月募金できます。

3984 1口 1000円

3983 1口 100円

◇お店では、募金箱またはサービスカウンターへ

ご購入
ください

コープあいちの支援活動の記録

書籍「タオルの絆」販売中!

コープあいちの組合員のみなさんの被災地に寄せる思い(支援タオル)が育んだ被災地との絆が本になりました。

この本には、生きた募金活用へとつながる、被災されたみなさんとの顔の見える交流のあゆみが手に取るようにわかります。

〈購入お問い合わせは 下記まで〉



定価
(本体 1,500円
+ 税)



〈お問い合わせ先〉 コープあいち地域支援センター 生活サポート課
TEL 052-781-6161 (月~金 受付時間 9:00 ~ 17:30)

コープあいち復興支援ブログ

あいち 復興

検索

← 活動の詳細はコープあいちのホームページと合わせてご覧ください。